

令和7年度 第6回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和8年 2月 13日(金) 10:00 ~ 12:00

2 場所 会議室

3 あいさつ(委員長、学校長)

(委員長)

○ もう少ししたら卒業式。皆様にはあと少しよろしくお願ひしたい。

(学校長)

○ 卒業式のご案内を差し上げた。ご都合がよければぜひご参加を。

○ 今年インフルエンザが流行しているが、本校では数名しかいない。6年生を送る会等児童が集まる機会もあるので、気を付けていく。

○ 本日は1年間のまとめとして学校関係者評価の確認、承認をしていただく。

○(「学校だより」より)

- ・ 低学年の昔遊び。ボランティアの皆さんにお世話になった。
- ・ スマホの使い方。付き合い方は難しいが、正しい使い方を覚えさせたい。
- ・ 餅つき大会。まち協の皆様にお世話になった。
- ・ 体力テストの結果からは女子の運動不足が顕著だと読み取れる。運動すること自体は好きな子どもたちなので、解消に向け取組んでいく。

4 協議内容

(1) 学校関係者評価について

○ 学力×ICT。今後も職員全体で研鑽し、よりよい子どもの姿を目指して、全教職員が1回以上研究授業を行うなど、授業実践を行っていく。自主学習の取組の質を高められるようにしていく。図書の本出し冊数については、本校は市の平均より多い。

○ 長期欠席対策。引き続き外部の協力も得ながら支援し、欠席者を減らしていきたい。早期発見、早期対応に努めていく。個性に応じた教育ができる環境になってきたと評価していただき、ありがたい。

○ 非認知能力の育成。平田野中校区で「ぐっじょぶさん」の取組を行っている。普段から児童の良い行動を認め、褒めることで児童の行動を強化していく必要がある。そのために、児童をよく観察し、コミュニケーションを密にとっていく。

- 地域連携。挨拶を継続して習慣づけたい。見守り隊に本当にお世話になっている。継続していただくとありがたい。
- 外国人児童は、ルーツのある子どもたちをカウントすると、児童数の1割超在籍している。

(2) 令和7年度明生小学校学校アンケート(後期)の結果について

- 全体的に、極端に大きな変化はないが、読書に関しては、肯定的回答の割合が低い。
- 否定的な回答に関して、個別に理由がわかるとよい。
- 防災意識は子どもも保護者もアップしている。地震に対する備えができています。
- 直接のアンケート結果ではないが、1月に行った5年生のみえスタディ・チェックでは5年生が頑張った。
- 下級生から勉強に臨む気持ちをきちんとしていくとよい。急には上がるものではないが、相対的に上がっていくとよい。

(3) 明生小学校地域協働活動委員会について

- 地域協働活動委員会が形になった。組織化できた。体育施設開放委員会にも呼び掛けていく。やれることは何か考えながら前進していく。
- 行事について、来年も今年と同様にPTAや地域と協働して盛り上げていきたい。
- 秋祭りは、みんなで集まることで関係性を強くしていく。いかに継続するか、以前のことを洗い出してマニュアルを作っていけるとよい。周りの賛成が得られるか、担当の負担を考え、個人に負担がかからないようにしていけるとよい。

(4) その他

- 来年の開催日程について。月初めの方が都合がよいかもしれない。日程を検討し再提案する。
- 土曜授業についての報告、来年度の予定。

5 アドバイザーより

- 学校関係者評価について、まとめの報告をした。枠に入りきらず、文字を細かくせねばならないほど、しっかり意見をいただいている。評価していただけたことは、来年につながる。今回のことが元になって来年がスタートしていく。
- PTAとはなかなか時間が合わない中、一緒に子どものことを話し合うことができた。地域活動協働委員会は、明生小学校が先進的に行っている。負担とならないようにしつつ協力できるとよい。
- アンケートは、結果から何か生かせるものはないかという視点で意見をいただいた。いいところを保つことは大変だ。1,2年生が落ち着いていると副委員長からいいお言葉をいただいた。継続は難しいが、昔よくなかった時期から立て直して今のいい状態がある。続けられるよう、委員の皆様にも今後とも協力をお願いしたい。